



教育は  
未来へつなぐ  
希望の輪

平成29年8月10日（木）  
愛知県教育委員会高等学校教育課  
職業指導グループ  
担当 橋本、近藤、加藤満、渡部  
内線 3905、3918  
(ダイヤル)052-954-6787

平成29年度愛知県高等学校職業教育技術認定証書授与式を開催します

県教育委員会では、県内の高等学校や特別支援学校の高等部で学ぶ生徒が職業資格の取得を通じて、専門分野の技術や技能を磨くとともに、目的意識をもって充実した学校生活を送ることをねらいとして、昭和57年から一定条件以上の資格等を取得した者に対して、知事名で顕彰証書、検定合格証書を授与しています。

このことについて、本年度前期分の証書授与式を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

#### 記

#### 1 日時

平成29年8月18日（金） 午後1時30分から午後2時まで

#### 2 場所

愛知県庁 正庁（6階）

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

#### 3 参会者

(1) 授与 教育長

(2) 立会 学習教育部長、高等学校教育課長、特別支援教育課長、私学振興室長、  
名古屋市教育委員会指導室長、公・私立関係学校長

(3) 生徒 公・私立関係学校の該当校代表者 65名

#### 4 次第

(1) 開会のことば

(2) 国歌斉唱

(3) 事業報告

(4) 受領者紹介

(5) 証書授与

(6) 愛知県教育委員会教育長挨拶

(7) 受領者代表謝辞

(8) 閉会のことば

5 証書受領者数（平成29年度前期、（ ）内は平成28年度同期）

(1) 技術顕彰証書受領者数

1年生	0	( 0)
2年生	1,100	( 919)
3年生	4,533	(4,247)
4年生	6	( 16)
計	5,639	(5,182)

(2) 技術検定合格証書受領者数

1年生	0	( 0)
2年生	198	( 154)
3年生	2,777	(2,385)
4年生	24	( 21)
計	2,999	(2,560)

6 証書授与式参加予定校数（1校1名）

種別	農業	工業	商業	家庭	水産	特別支援	計
県立	6	18	21	1	1	2	49
市立	0	2	2	0	0	0	4
私立	0	6	6	0	0	0	12
計	6	26	29	1	1	2	65

7 証書受領者代表校

(1) 技術顕彰証書受領者代表校

学 校 名	選 定 理 由
愛知県立半田農業高等学校	農業部会の県立高校で顕彰証書最多受領校
名古屋市立名古屋商業高等学校	商業部会の市立高校で顕彰証書最多受領校

(2) 技術検定合格証書受領者代表校

学 校 名	選 定 理 由
大同大学大同高等学校	工業部会の私立高校で検定合格証書最多受領校
愛知県立名古屋聾学校	特別支援部会で検定合格証書最多受領校

8 受領者代表謝辞

学 校 名	選 定 理 由
愛知県立三谷水産高等学校	平成29年度は、水産部会で最多受領校

## 1 目的

- (1) 職業資格の取得を通じて、専門分野の基礎的・基本的な技術・技能を習熟させる。
- (2) 学習意欲を高め、目的意識をもって充実した学校生活を送らせる。
- (3) 将来にわたって豊かな職業生活を営むことのできる資質を身に付けさせる。

## 2 内容

### (1) 顕彰制度 (昭和57年度開始)

在学中に国や公的機関等が実施する339種目(平成29年度)の職業資格試験や検定試験等のうちから、一定条件以上の資格等を取得した場合に知事が顕彰する。

### 〇グランプリの授与 (平成21年度開始)

愛知県高等学校職業教育技術顕彰制度により表彰された生徒のうち、人物的にも優れ、他の模範となる生徒を県教育委員会が表彰する。

平成28年度受賞者 平成29年2月9日(火)

- |            |            |        |
|------------|------------|--------|
| 農業部会       | 県立半田農業高等学校 | 山本 瑞貴  |
| 工業部会       | 県立愛知工業高等学校 | 坪井 智   |
|            | 県立岡崎工業高等学校 | 中野 新樹  |
| 商業部会       | 県立愛知商業高等学校 | 小島 隆正  |
|            | 県立知立高等学校   | 板倉 朱音  |
| 水産部会       | 県立三谷水産高等学校 | 水藤 瑞穂  |
| 家庭・看護・福祉部会 | 県立松平高等学校   | 阿部 虎之助 |
| 特別支援部会     | 県立名古屋聾学校   | 鈴木 豪   |
|            | 県立名古屋聾学校   | 古川 昂希  |



証書授与式



グランプリ授与式

### (2) 技術検定制度

高校生の学力水準に見合う検定基準を県独自で定め、この基準に沿って実施する検定試験に合格した者に対して知事が技術検定合格証書を授与する。

## (2) 技術検定制度

学科名等	検定試験の名称
農業に関する学科	農業技術検定
工業に関する学科	電気基礎認定試験、旋盤技能検定、その他8種目
商業に関する学科	ビジネス実務検定
水産に関する学科	水産食品化学分析検定、その他6種目
特別支援学校	コンピュータ技術検定、ワープロ技術検定

	平24	平25	平26	平27	平28
顕彰取得者(人)	8,807	8,171	8,443	8,217	8,296
検定取得者(人)	3,909	4,064	4,260	3,868	3,752

農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科
<p>農業科では、日頃の学習で培った知識や技術・技能の定着を図るため、積極的に資格取得にチャレンジしています。写真は、造園装飾技能士の資格に挑戦している様子で、課題図に示されたインドアガーデンを製作しているところです。</p>	<p>工業科では、ものづくりを中心とする地域産業の発展に貢献できる人材を育成するとともに、資格取得に取り組んでいます。写真は、「溶接技能者評価試験(半自動溶接、下向き姿勢溶接)」合格を目指し、企業と連携した実習を行っている様子です。</p>	<p>商業科では、資格取得への挑戦など目標をもった意欲的な学習を通して知識と技術の定着を図っています。写真は、秘書技能検定試験に挑戦するため、専門学校と連携した実習を行っている様子です。</p>
水産に関する学科	家庭・看護・福祉に関する学科	特別支援学校
<p>水産科では、「海・水産物・船」を題材とした学習活動を通して、地域社会に貢献する人材を育成するとともに、海士工などの資格取得に取り組んでいます。写真は、かん詰巻締結頭取検定に挑戦している様子です。</p>	<p>家庭科では、日頃の学習で身に付けた知識と技術を応用し、おもてなし料理やジャケット・着物の製作が課題される家庭科技術検定に挑戦しています。写真は、家庭科技術検定1級のジャケットの仕上げをしている様子です。</p>	<p>特別支援学校では、日頃の学習の成果を発揮する場として、愛知県障害者技術競技大会に出場しています。写真は、洋裁部門に社会人とともに挑戦している様子です。</p>

## (1) 顕彰制度

教育委員会では、専門分野に係る公的資格等を、難易度に合わせて3つに区分(ポイント制)し、ポイントの合計が3ポイント以上となった生徒を対象に顕彰しています。

基準	取得ポイント数
長期間の学習を重ねることで合格できる高度な資格等を1種目取得した場合(測量士、基本情報技術者試験、簿記検定1級等)	3ポイント
比較的高度な資格等を取得した場合	2ポイント
努力すれば比較的に容易に合格できる資格等を取得した場合	1ポイント